

TOP page

資料室

イベント情報

講師を探す

Worker's 広場

関連リンク

## 資料室



HOME | 資料室 | 一般教養 | 自己啓発 | 二宮尊徳伝 (16)

労働組合

労働者福祉・共済

一般教養

社会保障

労使トラブル法律相談Q&amp;A

労働関係法

経営全般

人間関係とコミュニケーション

ライフプラン

男女共同参画

公務員関係法

日朝の歴史

7つの習慣

中東の歴史

ボランティア活動

環境活動

社会貢献活動

自己啓発

生涯学習

外交・防衛問題

資本論

### 二宮尊徳伝 (16)

尊徳67歳の時、幕府から「日光東照宮領の仕法に着手せよ」の命令が出されました。

尊徳が待ち望んでいた事業です。

喜んだ弟子たちが尊徳のもとへお祝いに駆けつけました。

弟子たちに向かって尊徳はこう語りました。

「我が願いは、荒地よりも、人々の心の荒廃を開拓することだ」

人々の“心田の開発”をすることこそ尊徳生涯の願いだったのです。

具体的には「怠・奢・奪の心から、勤・儉・譲の心」への心田開発のことです。

これはいわば尊徳流の道徳教育理論ですが、この道徳教育の難しさは人間の性にあります。

人間の心はどちらかといえば“善とされるもの”よりも“悪とされるもの”のほうに動きやすいからです。

勤・儉・譲よりも怠・奢・奪のほうに傾きやすいということですね。

だから指導者はそのことをわきまえて、自ら戒め、深く自覚・自戒せよということでしょう。

尊徳は幕末の荒廃した農村を復興し、人々の暮らしを立て直すために生涯を捧げ尽くし、70歳の天寿をまっとうしました。

死に臨んで弟子たちに次のように遺言しました。

「私の死ぬのも近いだろう。

私を葬るのに分を越えるでない。

墓石を立てるでない。

碑も立てるでない。

ただ土を盛り上げて、そのそばに松か杉を一本植えておけばそれでよろしい。

決して私の言葉に違ってはならない」

尊徳伝を書きながらいくつものことを学びました。

素晴らしいリーダーには人を惹きつける魅力があります。

それはある種の強力なパワーです。

パワーを持った指導者はいつしか権力を持ちます。

その権力の使い方を誤ると組織や社会は崩れていきますから、その行使にはよほどの注意が必要です。

あなたのパワーの源泉はなんでしょうか？

尊徳のパワーの源泉は「徳」でした。

まだまだ私たちの勉強の道程は続きます。

(終わり)

資料に関する解説やサイト内ブックマーク、簡単なクイズもできる無料会員登録のお申し込みはこちらになります。

### Worker's Library 会員登録

お申し込みはこちらです。

>>> 一覧へ戻る

[教育カリキュラム](#)

[日本国憲法](#)

[傾聴](#)

[語り部スキル](#)

[▶ キーワード検索はこちら](#)

[▶ サイトマップ](#) [▶ このサイトについて](#) [▶ 個人情報保護の取組みについて](#)

[▶ ページTOPへ](#)

[TOP page](#)

[資料室](#)

[イベント情報](#)

[講師を探す](#)

[Worker's広場](#)

[関連リンク](#)

**Worker's Library** 静岡で働く人のための資料閲覧サイト  
JAPANESE TRADE UNION COFEDERATION DB SITE **【ワーカーズ・ライブラリー】**

Copyright© WORKER'S LIBRARY All rights reserved.